

第3期 豊富町保健事業実施計画（データヘルス計画）概要版

課題解決に向けた今後の方向性

被保険者の健康の保持増進により医療費の適正化及び被保険者の財政基盤強化を目的として、特定健診の結果やレセプトデータ等の健康・医療情報を活用して効果的かつ効率的な保健事業を実施する。
第3期保健事業計画（データヘルス計画）策定から3年後の令和8年度（2026年）に、進捗状況確認のため中間評価を行う。

R5.11.20作成

1 介護給付費と医療費の状況

	H30年度		R4年度		R4年度	
	豊富町	割合	豊富町	割合	北海道	全国
介護認定者数(人)	217		246		—	—
2号認定者	13	0.89%	5	0.38%	0.42%	0.38%
1号認定者	204	16.7%	241	17.8%	20.9%	19.4%
総介護給付費	3億5426万円		4億0089万円		—	—
一人当たり介護給付費(円)	289,426		295,424		269,507	290,668
医療費						
65~74歳	466	36.5%	465	42.7%	45.7%	40.5%
40~64歳	444	34.8%	335	30.7%	31.8%	33.1%
39歳以下	366	28.7%	290	26.6%	22.5%	26.5%
総医療費	3億4785万円		3億4023万円		—	—
一人当たり医療費(円)	272,613		312,135		376,962	339,680
入院						
1件当たり費用(円)	578,730		599,730		628,200	617,950
費用の割合	48.9		41.2		43.7	39.6
件数の割合	4.0		3.5		3.2	2.5
外来						
1件当たり費用(円)	25,000		31,240		26,530	24,220
費用の割合	51.1		58.8		56.3	60.4
件数の割合	96.0		96.5		96.8	97.5
地域差指数	0.881		0.826		—	1.000

※地域差指数（一人あたり年齢調整後医療費）→H30年度・H29年度現在、R4年度→直近データR2年度分 使用
参考：P.11 図表10 (KDBシステム…人口及び被保険者の状況、健診・医療・介護データからみる地域の健康課題)
P.12 図表12、13 (KDBシステム…健診・医療・介護データからみる地域の健康課題)
P.13 図表15 (ヘルスサポートラボツール)、図表16 (厚生労働省…地域差分析)
P.82 参考資料1-2 (ヘルスサポートラボツール 様式5-1-4~1-6)

2 中長期目標疾患の医療費の状況

	H30年度		R4年度		R4年度	
	豊富町	割合	豊富町	割合	北海道	全国
生活習慣病医療費(※)	1億7799万円		1億7485万円		—	—
総医療費に占める割合	51.2%		51.4%		—	—
中長期目標疾患医療費合計	1374万円	3.95%	622万円	1.83%	6.48%	8.03%
中長期目標疾患						
脳 脳梗塞						
脳 脳出血	0.56%		0.58%		2.18%	2.03%
腎 慢性腎不全(透析有)	1.57%		0.98%		2.30%	4.26%
腎 慢性腎不全(透析無)	0.10%		0.07%		0.28%	0.29%
心 狭心症						
心 心筋梗塞	1.71%		0.19%		1.72%	1.45%
その他						
悪性新生物	19.87%		27.20%		19.14%	16.69%
精神疾患	4.33%		2.30%		7.60%	7.63%
筋・骨疾患	11.87%		9.45%		9.41%	8.68%

参考：P.15 図表17 (KDBシステム…健診・医療・介護データからみる地域の健康課題)
P.89 参考資料3 (ヘルスサポートラボツール 重症化予防 9-2)

3 中長期目標疾患、短期目標疾患の治療状況

		高血圧				糖尿病				脂質異常症						
		40歳以上		40~64歳		65~74歳		40~64歳		65~74歳		40~64歳		65~74歳		
		H30年度	R4年度	H30年度	R4年度	H30年度	R4年度	H30年度	R4年度	H30年度	R4年度	H30年度	R4年度			
短期目標疾患治療者	人数			107	103	256	278	88	60	172	171	80	67	230	220	
	割合			24.1%	30.7%	54.9%	59.8%	19.8%	17.9%	36.9%	36.8%	18.0%	20.0%	49.4%	47.3%	
中長期目標疾患	脳血管疾患	人数	70	85	13	14	33	44	5	8	23	21	6	8	21	31
	割合	7.7%	10.6%	12.1%	13.6%	12.9%	15.8%	5.7%	13.3%	13.4%	12.3%	7.5%	11.9%	9.1%	14.1%	
人工透析	人数	4	1	3	1	0	3	0	1	0	2	1	1	1	0	
	割合	0.4%	0.1%	2.8%	1.0%	0.4%	0.0%	3.4%	0.0%	0.6%	0.0%	2.5%	1.5%	0.4%	0.0%	
虚血性心疾患	人数	81	61	14	8	44	38	11	8	37	31	9	8	35	31	
	割合	8.9%	7.6%	13.1%	7.8%	17.2%	13.7%	12.5%	13.3%	21.5%	18.1%	11.3%	11.9%	15.2%	14.1%	

参考：P.15 図表18 (KDBシステム…疾病管理一覧(脳卒中、虚血性心疾患)、地域の全体像の把握)
P.16 図表19、20/P.17 図表21 (KDBシステム…疾病管理一覧(高血圧症、糖尿病、脂質異常症)、地域の全体像の把握)

1 特定健診・特定保健指導実施状況

	H30年度		R4年度		目標値
	豊富町	割合	豊富町	割合	
特定健診	275		266		健診受診率 60%
受診者数	34.4%		37.9%		
特定保健指導	30		33		特定保健指導実施率 60%
該当者数	10.9%		12.4%		
実施者数	19		15		
実施率	63.3%		45.5%		

参考：P.19 図表27(特定健診実施報告データ)

★特定健診受診率の目標達成を目指す

・R4年度特定健診受診率は37.9%を目標値60%を達成できていない。特に受診率の低い年齢は40歳代から50歳代の男性である。健診受診勧奨対象者は、40歳代から50歳代の男性や医療機関に通院していない人、過去に受診したが継続受診していない人を優先に受診勧奨を実施し、受診率60%を目指していく。

★特定保健指導実施率の目標達成を目指す

・R4年度のメタボ該当者数のうち特定健診受診率の少ない40歳~50歳代も該当者がおり、そのうち男性は疾患の治療につながっている割合が多い。メタボ該当者で治療している方は重症化予防を目的に、治療していない方は特定保健指導対象者となるため、疾患の発症予防を目的に保健指導を実施していく。さらに若年健診でメタボ該当者の方にも早期からの発症予防として保健指導を実施していく。

2 メタボリックシンドローム該当者の状況

	総数		40~50歳代	
	H30年度	R4年度	H30年度	R4年度
豊富町				
特定健診受診者数(人)	140	140	35	24
メタボ該当者(人)	41	38	8	3
割合	29.3%	27.1%	29.3%	12.5%
※3疾患治療の有無の割合	あり	なし	あり	なし
豊富町	80.5%	81.6%	75.0%	33.3%
北海道	19.5%	18.4%	25.0%	66.7%
全国	29.4%	32.5%	—	—
メタボ該当者の割合	29.2%	32.0%	—	—

	総数		40~50歳代	
	H30年度	R4年度	H30年度	R4年度
豊富町				
特定健診受診者数(人)	150	150	41	34
メタボ該当者(人)	6	14	0	1
割合	4.0%	9.3%	0.0%	2.9%
※3疾患治療の有無の割合	あり	なし	あり	なし
豊富町	100.0%	92.9%	0.0%	100.0%
北海道	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
全国	9.7%	10.8%	—	—
メタボ該当者の割合	10.0%	11.0%	—	—

参考：P.63 図表71、P.83 参考資料1-2 (ヘルスサポートラボツール 様式5-1-5~5)

3 健診受診者からみた重症化予防対象者

	血圧		血糖		脂質	
	収縮期160mmHg以上 拡張期100mmHg以上	HbA1c 6.5%以上	LDLコレステロール 160mg/dl以上	H30年度	R4年度	H30年度
人数	18	20	29	28	35	25
割合	6.2%	6.9%	10.0%	9.7%	12.1%	8.6%
治療なし	人数	8	11	13	6	35
割合	44.4%	55.0%	44.8%	21.4%	100.0%	100.0%
治療あり	人数	10	9	16	22	0
割合	55.6%	45.0%	55.2%	78.6%	0.0%	0.0%

参考：P.93~95 参考資料7、8、9 (ヘルスサポートラボツール ④-2評価ツール)

★Ⅱ度高血圧以上の未治療者の減少を目指す

・未治療者には、生活習慣の改善と合わせて家庭血圧測定値を確認後、受診の必要性がある場合には受診勧奨を実施する。

★HbA1c 6.5%以上の未治療者の減少を目指す

・HbA1c 6.5%以上の対象者のうち約8割は糖尿病治療中である。治療中男性・女性の約8割に肥満を併発しているため、肥満者は適正体重に近づけ血糖値改善を目指す。また、未治療の方は血糖改善に向けて保健指導を実施し、受診の必要性がある場合は受診勧奨を実施する。

★LDLコレステロール160mg/dl以上の者の10.0%が未治療者

・LDL 180mg/dl以上、冠動脈疾患発症リスク中リスク以上のLDLコレステロール160mg/dlを優先に保健指導を実施する。また、適切な時期に医療機関を受診し、薬物療法を開始する必要性について理解してもらうための保健指導を実施するとともに、コレステロール高値の原因となる食習慣の改善に向けた保健指導を実施する。

脳血管疾患を予防するために、若年層からの発症・重症化予防対策が重要!

医療費、健診の状況から、若年層の肥満・メタボが将来の高血圧・糖尿病・脂質異常症等の発症、脳血管疾患・虚血性心疾患等の重症化につながることが見えてきました。これらのことから、脳血管疾患の発症予防を中心とし、下記のように対策を行う必要性があると考えます。

①健診受診率の向上→未受診者対策

生活習慣の改善に向けた取り組みを考える入口は「健診」であるため、健診受診者の増加や健診継続受診者の増加に向けての対策が必要です。各種管理台帳等(未受診者、受診中断者等の台帳)にて健診受診状況を把握し、保健指導や訪問、来所の場面等で定期的な健診受診の必要性を理解していただくよう受診勧奨を行ないます。特に若年層からの課題解決に向けて、40歳代・50歳代の若い方に向けた受診勧奨を強化する必要があります。

②メタボ該当者の発症予防を目指し特定保健指導率の向上

特定保健指導対象者は、メタボ該当者であるため疾患の発症予防が重要となってきます。この対象者全員に保健指導を実施していくことを目標にします。また、基本・特定保健指導者全員に地区担当の保健師、管理栄養士が保健指導を行ないます。住民自身が健診結果から身体の状態を理解し、必要に応じて生活習慣の改善や医療機関を受診する等、対象者自身が選択し行動できる力をつけられるように支援していきます。

③重症化予防

①早期治療～医療機関を受診が遅れれば重症化すること多く介護が必要な状態になります。疾患の症状を理解し早期に医療機関を受診するための保健指導を実施します。
②再発予防～疾病の再発を繰り返すことでさらに重症化すること多いため、治療の必要性を理解し、食事や運動療法等の生活習慣の改善を継続しながら治療コントロール目標値の達成を目指す保健指導を実施します。